

# 蓬萊町だより

第十八号  
昭和63年1月31日  
発行者 蓬萊町会  
編集者 文部

## 蓬萊町界限(その十五)

### 駒込館のことも

林 順 信

懐かしのおんぼろ小屋

戦前の昭和十年代となると、もう半世紀も昔のことになるが、当時は現在ほど娯楽が発達していなかったから、一般大衆の肉踊り血湧かせたものとなると、活動写真だとか、東京六大学野球だとか、両国国技館の相撲であった。蓬萊町の町内にこそ映画館はなかったが、本郷有町の交差点、現在は住友銀行白山支店になっている角に続く北側(駒込寄り)の表通りに面して映画館駒込館があった。一昨年住友銀行の白山支店は六十周年を迎えたわけだが、戦前の有町の角地には東京貯蓄銀行というのがあって、住友銀行白山支店の位置は、もっと白山寄りの坂道の方であった様子を窺っていたが、あるいは町会の長老の方に御教示を賜りたい。角の銀行は左程大きくはなく、現在の銀行の北側から、

細い路地にかけて駒込館はあったと思う。その北側に入っている路地の角には、立喰いの寿司屋が一軒あったのを思い出す。その寿司屋と路地をはさんだ北側の角には、古い家造りの米屋になっていた。その路地を東に入った奥には、今井いねさんという髪結いがあった。今井いねさんは確か姉妹で髪結いをやっていたが、日本髪も、昭和十年頃大流行のバーマネット・ウェイクというの始めて、私の従姉妹たちがせつせと通っていた。その路地の奥の方になると、肴町というのではなく、れっきとした駒込蓬萊町五十一番地だった。

駒込館という映画館は、私が観に行った昭和十年代は、大都映画か新興キネマ系の映画がよく上映されたのだと思う。ここでは月形半平太などを観たことがあった。時代劇では、阿部九州男とか、若水ヤエ子だとか月形竜之介が出ていたと思う。大都映画でも、駒込館あたりに来るのは、二番館か三番館としてだから、スクリーンに「雨が降っている」のはまだしも、とても傑作な画面があった。川の堤を馬を飛ばして行くお侍の脇には電信柱が何本も通り過ぎたり、峠の道を喘ぎ喘ぎ登る道には、自動車のタイヤの跡がクッキリと見えたりして、ものすごい画面が時たま出て来た。

駒込館は、余り綺麗な小屋ではなく、うすきたない外壁で、中に入ると便所くさい小屋だっ

た。観覧席は、一人一人が独立した椅子ではなくて、JR電車のロングシートのように、横に長く続いて、まるでベンチの様な堅い椅子席だった。グリーンビロードの布が張ってあったのだったが、たちの悪い観客のために、靴磨き用に好適だとばかり、ズタズタに切り取られてしまつて、中味の藁がはみ出したりしていた。駒込館には一階席と二階席とがあつて、一階席の後部中央には、半畳敷き程の太い角柱で囲まれた警官席というのがあつて、時たま巡査が見廻りに来ると、そこに陣どつて映画を観ていた。確か一般の観客席より一段高くこしらえてあつたと思う。冷暖房などは勿論なく、夏にはまるで飛行機が天井で回転していた。昔の銭湯の天井には、これと同じプロペラ扇風機が回っていた。

幕間の時間になると、割烹着姿のおばあさんが、しわがれた声で「おせんにキャラメル、干しいかはいかが」と客席の間を縫って歩いた。映画館で買うキャラメルは、箱は黄色で一見分かり難いが、千鳥のマークのいすずキャラメルという、お砂糖っぽくて、柔かい粗悪な品位のものを売っていた。それでも、何か買ひ喰ひすると、観劇気分になれた。

既に日中戦争が始まっていた昭和十四年頃には、駒込館には洋画もかかっていた。何といっ

でも印象深かったのは、「間諜X第25号」というスパイ映画だった。しゃれた階段の踊り場で、黒いアミタイトの脚線美の女がピアノに腰かけて「美しき蒼きドナウ」の名曲をひいていた。垂れ目の妖艶な女優は、後年成長してから解ったが、かのデートリッヒだった。当時小学四年生の私の目にもある種の興奮を覚えさせた名場面だった。情操教育にすぎた感もあるが……。

それから、ドイツ映画の「最後の一兵まで」という第一次世界大戦の飛行船の映画が今でも暇に焼きついている。連合軍の高射砲攻撃を受けて、ドイツ軍の飛行船は高度を上げねばならず、消火用の砂袋を空から捨ててしまう。だが高度はまだまだ足りない。次には設備用品や武器を捨てる。それでもまだまだ高射砲の射程高度から脱していない。最後には、まだ捨てるものがある。それは我々兵卒だということになる。「最後の一兵まで」「租国のために」と叫んで一人々々が飛行船から地上に落下して行くシーンが悲壯極まりなかった。

わが国でも昭和十六年十二月八日から第二次大戦に突入して、次第に駒込館から足が遠のき、昭和二十年三月十日の東京大空襲で、蓬萊町の大方の家々と共に烏有に帰したことは惜しまれる。

#### ◎意外と古い駒込館

一体全体、蓬萊町周辺に戦前まであった映画館はどれ程あったのだろうか。次回に多少詳しく述べるとして、春木町の本郷座、柳町の喜楽館、白山下の白山東宝、根津裏門坂下の芙蓉館（根津東宝↓根津東映）、動坂の動坂松竹館、神明町のシネマ神明館、足を伸ばせば、伝通院に伝通館というのがあった。

私の手許にある大正元年の本郷区の地図には宥町に駒込館の名はないが、大正五年版の東京案内帳の中には、駒込館の名が既にあるから、旧本郷区内では、本郷座に次いで古い方なのだろう。これは思っていたより古く、大正二〜四年頃に開館されたらしい。この会報に写真版のせられれば興味深いのが、私の手許には、昭和四年九月廿六日発行にかかる「こまごめ・ういくりい」第39号というのがある。発行兼編集は恐らくオーナーであろう中村正郎となって居り、本郷宥町駒込館発行 電・小・三〇二一とある。これによると、洋画のプログラムで、A.パラマウント・ニュース、B.パラマウント漫画、C.裏切者八巻（泉天嶺説明）、D.サンダーボルト八巻（生駒雷遊説明）、E.独唱「蒼白きバラ」「思ひ出」「浪花小唄」木村時子出演となつて居り、現在七十才を超えるお年寄には嬉しい面々が出演していた。昭和四年という年には、本場アメリカではトーキー映画の制作

された年であった。私なども幼年時代には根津芙蓉館などでは、まだ説明者つまり弁士の語りにより、合わせてサウンドボックスの楽士の伴奏による映画を観たことがあった。

駒込館の予告を見ると、パラマウントの他に、フックス映画、メトロ・ゴールドウィン映画・ファスト・ナショナル映画なども上映されたことが解かる。

駒込館の向かいには、みよしのという甘味の店があつて、お汁粉だとかあんみつを食べさせた。ちょっとした路地の角地にあつた。とに角、宥町交差点界限は、旧本郷区の中では、本郷三丁目と並んで、繁華の土地柄として東京市内でも、山手の中の下町の雰囲気のあるところである。

#### 計 報

当町会にお住まいの方で、7月より12月までにご逝去された方々のご氏名は、左記のとおりでございます。

謹んでお悔やみを申し上げご冥福をお祈りいたします。

溝口みつ様 坂田良美様 田中はま様

## 町会活動の概要

昭和62年6月下旬から12月末日まで

### 総務部

7月2日 地下鉄工事にかかわる諸問題につきまして、向丘地区町会連合会は、営団側と連絡協議会を設置、本日第一回連絡協議会を開催いたしました。

7月20日 文京区ふるさと祭り開催。

7月27日 当町内の住民の利便を考慮した地下鉄駅の設置について営団側の説明会が駒本小学校で開催されました。

9月19日 町会連絡担当役員の一部変更について、南部地区を永らく担当されました溝口様のご都合により辞められましたので、当地区の担当は堀江様をお願いいたしました。

11月12日 区政について区民との対話集会開催、区民センターに於て。

11月12日 地下鉄の向丘・白山駅誘致委員会は多数の署名を戴き、初期の目的を達成致しましたので委員会を解散いたしました。

11月18日 駒込警察署庁舎は左記に移転いたしました。文京区本駒込2-28-18 住(944)〇〇-11-〇

12月12日 「年末年始のゴミ収集日のお知らせ」配布

(3) 12月20日 絵ビラ「門松」町会会員宅へ配布

### 防犯部

9月11日 町内防犯とゲリラ犯罪の防止の広報紙、配布

10月11日 20日 「全国秋の防犯運動」実施、11日には防犯活動に尽力された功績によって、防犯協会から表彰されております。

11月18日 当町会防犯部長、神保様長年にわたり防犯活動に尽力された功績によって、防犯協会から表彰されております。

11月24日 「麻薬撲滅追放運動」協力の広報紙配布

### 防火防災部

10月10日 文京区役所防災課より当町会あてに大型消火器一基の割当てがありましたので、南部地区・広沢防火防災部長宅前に設置いたしましたので、非常の場合には役立てて下さい。

11月15日 本郷消防署と各町会防火担当者との防災会議がありました。

11月26日 12月2日 「秋の火災予防運動」が実施されました。

### 交通部

9月20日 30日 「秋の全国交通安全運動」実施  
安全運動期間中は交通部・婦人部の方々が連日街頭指導にあたり、正しい交通ルールの啓

蒙を行いました。

11月26日 駒込警察署交通課と各町会交通担当役員との交通問題会議

### 婦人部

7月1日 婦人防災教室が開かれ婦人部より参加いたしました。

9月7日 「文京区天ぶらの会」の催しが例年のとおり海蔵寺において行われ当町会の婦人部がお手伝いをいたしました。

9月15日 「敬老の日」お祝い品贈呈

町会会員のご家族で、本年75才になられた方並びに80才以上の方々にご長寿を祝しまして、当町会よりささやかながらお祝い品をお贈りさせて頂きました。

10月20日 共同募金について

町内皆様の温かいご厚情によりまして、本年も左記の金円が集まりましたことをご報告申し上げます。一金 一五六、〇六〇円

12月10日 歳末助け合い募金につきましても相変わらぬ皆様のご厚情を賜り、左記の金円が集まりましたことをご報告申し上げます。一金 一六八、四〇七円

### 青年部

8月23日 25日 盆踊り大会開催  
当町会役員並びに婦人部のご協力を得まして

昨年盆踊りは、天候にも恵まれて予期した以上のご好評を戴き誠にありがとうございます。これも一重に町内会皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。特に中央宣伝様には舞台その他につきましてご提供戴いたことを本紙にてご紹介させていただきます。

10月8日 ガレージバザールの開催について  
婦入部のご協力を得まして、町内の皆様に品物のご提供をお願いし、バザールを開催いたしました。この収益金は青少年教育基金に寄付させていただきますのでご報告申し上げます。

12月18〜29日 歳末夜警について  
町会のご支援を得まして、昨年末は12日間にわたり夜警を実施いたしました。私共の呼び掛けに町内の皆様が防火、防犯に特段の注意を払って戴きまして、つつがなく越年致しました事をご報告いたします。

文化 部

8月20日 かねてより校正等を行い作成しておりました「町会員名簿」が出来上がりましてので、各会員宅へ配布いたしました。

65年

1月15日 町会員のご家庭で本年成人式をお迎えにられた方は、次の皆様でございます。

当町会から心ばかりのお祝いの品をお贈りし

ました。

雄川 憲子様	室川 晴希様
川瀬 恵子様	井川 伸夫様
山口 洋一様	岡田 次郎様
名取 直樹様	上田 陽子様
原 正代様	高木 志保様
山中 雅子様	青木喜美子様
小山 徹様	三宅 大助様
青樹 潤哉様	芝田 有子様

穴埋漫筆

鳥 総 松（とぶさまつ）

池田 連木

この十五日に私の属している「雨上俳句会」新春吟行句会で雅司谷の鬼子母神へ参りました。江戸時代から有名な寺で、江戸名所図会に依ると永祿四年五月（一五六一年）山本喜左衛門、田口新左衛門の所有する畑の中から畝の先に当って出現した銅像が鬼子母神像と判ってこの地に鎮つられたという。現在は日蓮宗法明寺に属している。寛永十一年（一六三四年）当時の地主、長島氏が標の並木を寄進したといひ今もわづかにそのおもかげを残しています。寺内の小店で今も先られている郷土玩具の「すすきみみずく」（すすきの穂で作ったみみずくのおもち）が何時頃から作られたものかさだかではないが、細々と作り伝えられている事はうれしい。

そして鬼子母神の社前に「鳥総松」が見られたのには驚いた。門松を取り払ったあとの穴に門松の先を一枚折って挿し残す風習は今では殆んど忘れられている正月のしきたりの一つである。昔、樵夫（きこり）が木を伐り倒したとき、その梢の枝を折って切株に挿し、山神を祭ったことから起きたならわしであるという。

子宝を祈る夫婦や鳥総松  
みみずくも着ぶくれている 雑司ヶ谷

編 集 部

明けましておめでとございます。新しい年を迎えまして、編集部も会員皆様のご期待に添えるような本誌の編集に努めてまいります。会員の皆様方からもご寄稿戴ければ幸いです。

つたない編集ではございますが、よろしくご愛読下さいますようお願い申し上げます。（次号の発行は5月を予定しております。）

- 小林音吉 竹中一馬 猪熊良晃
- 高橋一郎 翁 松夫 池田 暉